

第1学年 体育科学習指導案

2組 計28人(男子13人,女子15人)

指導者 林 朋

1 単元 わたしたちの「ボールゲームランド」(ボールゲーム)

2 単元の目標

ねらったところにボールを転がしたり投げたりすることができる。 【技能】
運動に進んで取り組み,きまりを守り友達と仲良く運動したり,場の安全に気を付けたりすることができる。 【態度】
みんなが楽しめる場や簡単なルールを工夫することができる。 【思考・判断】

3 単元について

(1) 単元の価値

子どもたちは,これまでの学習や学校行事を通して,友達と一緒に運動する楽しさを経験してきている。そして,運動経験や生活経験に個人差はあるものの,活動することに意欲的で,「友達とボールで遊びたい」「ボールを投げて遊びたい」などの欲求をもっている。

そこで,ここでは自分に合った投げ方でボールを投げてゲームを楽しむことができるように,的の大きさ・重さ・数,的までの距離などの工夫やそれに合わせたルール(得点化)の工夫を行っていく。その中で,ボール投げゲームを楽しみながら,ねらったところに転がす・投げるといった技能を高めていく。そして,的にねらって投げて得点を競い合うボール投げゲームの楽しさを味わっていくものである。

この学習は,みんながゲームを楽しむために,場・コート,ルールについての工夫を行う中で,たくさんボールを投げて得点し合い,ゲームの楽しさを味わう「楽しもう!わたしたちのシュートゲーム」の学習へと生かされていく。

【幼稚園,保育園 入学前までの生活経験】
ボール遊び
つく・転がす
投げる・捕る

【1年 わたしたちのボールゲームランド】
的(大きさ・重さ・数)
場(距離・高さ)
ルール(得点化)

【2年 楽しもう!わたしたちのシュートゲーム】
的(大きさ・重さ・数)
場(円の大きさ・コート)
ルール(得点化)

【「学び」の重点内容及び教材】

(2) 運動の特性と教材について

「ボール投げゲーム」の楽しさは,様々な投げ方で,様々な的をねらう中で,ボールを的に当てたり,的を倒したりしたときに得られる達成感,爽快感を味わえるところにある。また,的に当てたり,的を倒したりした数を友達やグループで競い合うところにある。

第1学年にとっての「ボール投げゲーム」は,「たくさんボールを投げて遊びたい」「いろいろな投げ方で的に当てたい,倒したい」といった一人一人の願いをもとに,みんなが楽しめる場や,簡単なルールを工夫しながらつくっていくことができる運動である。また,的の大きさ・数・重さの工夫,的までの距離や高さの工夫,さらに得点化の工夫をしたゲームを行う中で,投げる・捕るといった技能を高めることができる。そして,個人やグループで的にねらって当てたり,倒したりして勝敗を競い合う楽しさを味わうことのできる運動である。

(3) 本単元における「学び」を見つめ,「学び」を生かす子どもの姿

本単元では,これまでに楽しんできたボールを使った遊びについての経験を想起し,遊びを紹介し,みんなで楽しみながら「もっと楽しいボール遊びをしたい」という願いをもち,みんなで場やルールを工夫して「自分たちのボールゲームランドをつくらう」という課題をつかむことができるようにする。そして,様々な場やルールを繰り返し経験しながらゲームを行う中で,みんなが楽しめる場やルールを工夫・発見していく楽しさを味わっていく。さらに,みんなで楽しむ場をつくってグループで競争し合いながら「ボール投げゲーム」の楽しさを味わい深めていく子どもの姿を目指すものである。

(4) 子どもの実態 (平成21年9月9日実施)

項目	回答 (対象28人, 数字は人数)						
1 ボール投げゲームへの興味・関心	・好き(22) ・どちらかといえば好き(6) ・どちらかといえば嫌い(0) ・嫌い(0)						
理由	投げるのが楽しい, おもしろい(22) 当てるのが好き(3) 的に当てることができる(1) 的にねらうのが上手になる(1) ボウリングをしているみたい(1)						
2 単元のめあて	・的にたくさん当てる, 倒す(15) ・みんなで協力して勝つ(8) ・ボールを強く投げることができるようになる(5)						
3 ボール投げゲームを楽しくするための工夫 (複数回答)	・投げる距離を変える(23) ・的にの重さを変える(12) ・的にの数を増やす(12) ・いろいろな投げ方で的に当てる(12) ・どこからでも投げることができるようにする(12) ・いろいろなボールで挑戦する(11) ・友達と競争する(9) ・的にの大きさを変える(8) ・的にの置き方を工夫する(2) ・ボールを増やす(1) ・的に倒した時に音が鳴るようにする(1)						
4 投力		1		16		3	8
5 的に当て(3m)		【転がし】	13	15	【上投げ】	7	21

ボール投げゲームの興味・関心については、「投げるのが楽しい, おもしろい」という理由から, 好きだと答えている子どもが多い。

単元のめあてについては, 「的にねらってたくさん当てたり倒したりたい」「競争をして楽しみたい」「強く投げることができるようになりたい」などの願いをもっていることが分かる。

ボール投げゲームを楽しくするための工夫については, 「投げる距離を変える」「的にの数を増やす」「的にの重さを変える」「的にの大きさを変える」「的にの置き方を工夫する」「どこからでも投げることができるようにする」など場の工夫について答えている子どもが多い。また, 「自分に合った大きさのボールでボール投げゲームを楽しみたい」という子どもや, 「友達と競争して楽しみたい」という子どももいる。

投力や的にねらう技能については, 遠くまで投げることができない子どもや, ねらったところにボールを転がしたり投げたりすることができない子どももいる。

4 指導に当たって (研究の視点との関連)

【指導過程】

「つかむ」過程では, これまでの生活経験を想起し, ボールを使って遊ぶ活動を通して「みんなが楽しめるボールゲームランドをつくろう」という共通課題を設定できるようにする。

のびのびタイムでは, 新聞紙バトンを使っての「新聞紙投げ」や, いろいろなボールで「ボールつき競争」「キャッチボール」を行うことで, 「つく」「転がす」「投げる」「捕る」などのボール操作の技能を高めることができるようにする。

【場・コート, ルール, 作戦】

的にの大きさ・数・重さ, 投げる距離, 高さなど様々な場の工夫を行うことで, 子どもたちがボール投げゲームを楽しむことができるようにする。

「大きい的に当てたら 点」「重い的に倒したら 点」「遠くから当てたら 点」などの得点化の工夫を行うことで, みんながボール投げゲームをより楽しむことができるようにする。

対抗戦を行う前に, 場やルールについての話し合いを行い, 自分たちで楽しめる場をつくっていくようにする。その際, いろいろな種類の的にを準備しておくことで友達が考えた楽しみ方を取り入れることができるようにする。

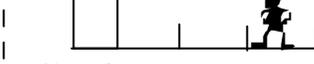
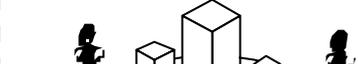
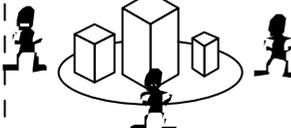
子どもたちの思いや願いをもとにして, ボールの投げ方, 的にの大きさ・数・重さなどが異なる場でゲームを経験することで, ゲームを楽しむことができるようにする。

【評価活動】

「どの場が楽しかったか」「どんな工夫をしたらもっと楽しい場になるか」などの発問を行い話し合うことで, 次時のゲームの場づくりに生かすことができるようにする。

子どもたちの挑戦したい場・楽しみ方などの, 思いや願いを把握するために, 実態把握表を作成することで, 次時の学習に生かすことができるようにする。

5 指導計画(全10時間)

時間	1	2・3	4・5(本時)・6	7・8	9・10
過程	つかむ	挑戦する			たしかめる
活動の流れ	<p>ボール遊びを楽しんで、めあてをたてよう。</p> <p>1 学習の進め方 単元の流れ</p> <p>2 学習の約束の確認</p> <p>3 ボール遊び (これまでの遊びを想起する場) ボールを使った遊びをたくさん楽しむ。</p> <p>4 話合い (遊びの紹介)</p> <p>5 ゲーム</p> <p>・転がしゲーム ・上投げゲーム ・下投げゲーム</p> <p>6 単元のめあて <準備する教具></p> <p>・ボール (野球ボール) (ドッジボール)</p> <p>・ペットボトル</p> <p>・的(段ボール)</p> <p>・セストボール用ゴール</p>	<p>みんなが楽しめる場やルール工夫をして、2組だけのボールゲームランドをつくらう。</p> <p>1 めあての確認</p> <p>2 準備運動</p> <p>3 のびのびタイム</p> <p>・新聞紙投げ</p> <p>・ボールつき競争</p> <p>・キャッチボール</p> <p>4 のびのびタイム</p> <p>・個人での的当て</p> <p>・友達との的当て競争</p> <p>5 ゲーム(対抗戦)</p> <p>6 整理運動</p> <p>7 振り返り</p> <p><はじめの場></p> <p>・転がしの場</p>  <p>・上投げの場</p>  <p>・ふわり投げの場</p>  <p><はじめのルール></p> <p>・当てる、倒す 1点</p> <p>・投げる回数は 回</p> <p>・合計得点で競う。</p>	<p>1 めあての確認</p> <p>2 準備運動</p> <p>3 のびのびタイム</p> <p>・新聞紙投げ</p> <p>・ボールつき(キャッチ)競争</p> <p>・的当て競争</p> <p>4 ゲーム</p> <p>5 ゲーム } 異なる場の経験</p> <p>6 ゲーム } 異なる場の経験</p> <p>7 整理運動</p> <p>8 振り返り</p> <p><場の工夫></p> <p>・的の数・大きさ・重さ</p>  <p>・的までの距離</p>  <p>・的の高さ</p>  <p><ルールの工夫></p> <p>・大きい的 1点, 小さい的 2点</p> <p>・軽い的 1点, 重い的 2点</p> <p>・当てる 1点, 倒す 2点</p> <p>・近い距離 1点, 遠い距離 2点</p>	<p>1 めあての確認</p> <p>2 準備運動</p> <p>3 のびのびタイム</p> <p>・新聞紙投げ</p> <p>・ボールつき(キャッチ)競争</p> <p>・的当て競争</p> <p>4 ゲーム</p> <p>5 ゲーム } 異なる場の経験</p> <p>6 ゲーム } 異なる場の経験</p> <p>7 整理運動</p> <p>8 振り返り</p> <p><場の工夫></p> <p>・どこからでも投げられる場</p>   <p><ルールの工夫></p> <p>・回数制から時間制へ (分間で何点とれたか)</p>	<p>ボール投げゲーム大会をしよう。</p> <p>1 大会の進め方 総当たり戦 リーグ戦 トーナメント戦</p> <p>2 場・ルールの選択</p> <p>3 単元全体の振り返り ・単元全体を振り返り、自他の伸びを実感する。</p> <p><予想される場></p> 
評価項目	「みんなが楽しめるボールゲームランドをつくりたい」という願いをもち、ボール遊びに進んで取り組むことができたか。(態)	きまりを守り、友達と仲よくゲームを行うことができたか。(態)	みんなが楽しめる場やルール工夫をすることができたか。(思・判)	みんなが楽しめる場やルール工夫をすることができたか。(思・判) 的をねらって投げ、当てることができたか。(技)	学習してきたことを生かして、ボール投げゲーム大会に進んで取り組むことができたか。(態)
評価方法	ワークシートの振り返り観察	ワークシートの振り返り観察	ワークシートの振り返り観察	ワークシートの振り返り観察	単元全体の振り返り観察

6 本 時 (5 / 1 0)

(1) 目 標

いろいろな投げ方で、的に当てたり的を倒したりすることができる。【技】
 「場やルールを進んで工夫して、みんながもっと楽しめるボール投げゲームをつくりたい」という願いをもって、場の安全に気を付けて友達と励まし合いながら進んでボール投げゲームに取り組むことができる。【態】
 みんなが楽しめる場やルールを工夫することができる。【思・判】

(2) 展 開

教師の言葉掛け 子どもの反応 重点評価項目 個に応じた指導

過程	主な学習活動と予想される子どもの反応・教師の言葉かけ	教師の指導
つ か む (15)	<p>みんなの「振り返り」を生かして3つの場を準備したよ。</p> <p>本時のめあてについて話し合う。 みんなが楽しめる場やルールを工夫して、ボール投げゲームを楽しもう。</p> <p>準備運動をする。 のびのびタイムをする。</p>  <p>新聞紙投げや、ボールつき競争、キャッチボールをして楽しもう。</p> <p>友達といろいろな場で、競争してボール投げを楽しもう。</p> <p>3つの場でゲームをしよう。今日は、どんな場やルールの工夫をして楽しみたいかな。</p> <p>話合い (場・ルールの決定)</p> <p>新聞紙バトンを遠くまで投げるぞ。ボールを落とさないようにキャッチするぞ。</p> <p>いろいろな場でボールをたくさん転がしたり投げたりして、的に当てるぞ。</p> <p>今日のめあては、 「的の数は何個にしたなら楽しくなるかな。得点は何点にしようかな。」</p>	<p>実態把握表を作成し、前時の子どもたちの「振り返り」を把握しておくことで、場づくりに生かすことができるようにする。</p> <p>のびのびタイムでは、「新聞紙バトン投げ」「ボールつき競争」「キャッチボール競争」「的当て」などを行うことで、楽しみながら投げる技能を高めることができるようにする。</p> <p>3つの場の設定が示してある掲示資料を準備しておくことで、場やルールについての話し合いをスムーズに進めたり、場をつくりかえたりできるようにする。</p> <p>「転がしの場」「上投げの場」「ふわり投げの場」など、投げ方の異なる3種類の場を準備することで、みんなが楽しくゲームを行うことができるようにする。</p> <p>場やルールの工夫についての話し合いの際には、前時の振り返りをもとにして進めることで、みんなが楽しめる場をつくることができるようにする。</p>
挑 戦 す る (24)	<p>的を増やして楽しみたいな。</p> <p>的を重くして、楽しみたいな。</p> <p>的の高さを高くして、楽しみたいな。</p> <p>ゲームに挑戦する。【転がしの場】</p> <p>ゲームに挑戦する。【上投げの場】</p> <p>ゲームに挑戦する。【ふわり投げの場】</p> <p>たくさんの的に当てることができたぞ。</p> <p>勢いよく投げて、重い的を倒せたぞ。</p> <p>高く投げて、的に入れたぞ。</p>	<p>「的の数」「的の大きさ」「的の重さ」「的の高さ」などの視点で話し合うことで、スムーズに話し合いを進めることができるようにする。</p> <p>様々な的を準備しておくこと、子どもたちが考えた場をつくるようにする。</p>
た し か め る (6)	<p>整理運動をする。</p> <p>今日の学習について振り返ろう。どの場が楽しかったですか。</p> <p>本時の学習を振り返り、ワークシートに記入する。</p> <p>どうして楽しかったのですか。</p> <p>次回はどんな場やルールの工夫をしてボール投げゲームを楽しみたいかな。</p> <p>本時の学習を振り返り、次時の学習に見通しや意欲をもつ。</p> <p>的当ての場で勢いよくボールを投げて倒す場が楽しかったです。</p> <p>的をめがけて、力強く投げるのができたからです。</p> <p>次は、上投げの場を増やしてほしいです。もっと遠くから投げて、的に倒したいです。</p>	<p>みんなが楽しめる場やルールを工夫することができたか。【思・判】</p> <p>みんなが楽しめる場やルールについての話し合いに進んで参加することができていない子ども</p> <p>実態把握表を作成することで、子どもの思いや願いを把握しておくようにする。</p> <p>「場やルールの工夫を生かしてゲームを楽しむことができたか」という視点で本時の学習を振り返ることで、場やルールの工夫についてのよさを価値付け、次時の学習に生かすことができるようにする。</p>